

崇学会だより

第9号

発行日 2015年2月21日

発行所 崇学会事務局

〒860-0082

熊本市西区池田4丁目2番1号



崇城大学
学長 中山峰男

卒業生の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

予てより母校発展のため、多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、若手職員により SOJO CREDO(崇城大学の信条)が立ち上がりました。その中に、

- 私たちは、学生の成長をサポートします。
- 私たちは、感謝と笑顔のあふれる温かい大学をつくりまします。
- 私たちは、挑戦、創造、啓発に努め、強い大学をつくりまします。と謳っております。

本年も、全教職員が心をつ一つにして親身になって、学生の成長をサポートし、教育指導を行う面倒見の良い大学づくりを目指します。

さて、本学では学生の起業育成のプログラムをスタートしました。週6コマの起業講座には300人の学生が受講しており約30人の学生は「起業部」を立ち上げて積極的に学んでいます。

昨年12月には経済産業省主催のビジネスプランコンテスト全国大会に出場。一次審査では、全国の大学生・大学院生が69件のプランを提出。そのうち最終選考を受けた9プラン9組に本学の学生が入り審査員からの高い評価を頂きました。また、今年1月には熊本県主催のビジネスプランコンテストに本学起業部から応募、26件の応募の中から本学起業部の学生が大賞を受賞、他優秀賞・奨励賞を受賞しました。先日は本学主催の第1回崇城大学ビジネスプランコンテストを開催。

同コンテストには学生から総数61組の応募があり、予選を通過した7組がビジネスプランを発表しました。日本を代表する投資家・起業家の方々を招聘し「市場性」「収益性」「独創性実現可能性」「プレゼンテーションの内容」の5つを審査し授賞を決定しました。このように学生の起業家精神を育成、若者が世界に出で、堂々と意見が言えるように開業支援をして学生たちが自分で何かをやろう、自分の考えを持とうという意欲を引き出したいと考えています。

また、英語習熟の「SALC」を活用した自立学修の体制づくりに力を入れてきましたが、この取組が認められ文部科学省の補助事業大学教育再生加速プログラム「アクティブ・ラーニング」に採択されました。英語は授業を受けただけでは上達しにくく自学自習が求められます。「SALC」では豊富な教材に加え、ネイティブの教師補助教員や大学院生のファシリテーターの下で、自分のレベルやニーズに合わせていつでも学べる環境を整備しています。県内で本事業に採択されたのは本学のみで、九州でも2大学だけです。

エアラインのパイロットや航空整備士の養成を目的に、宇宙航空システム工学科を立ち上げましたが、今では日本で唯一、空港キャンパスを持つ大学として高い評価を頂いています。今後は、「大熊本空港構想」の実現に向け、さらにキャンパスの環境整備を進めるとともに優秀なパイロットや航空整備士の育成に取り組みたいと思っています。以上、簡単に本学の教育活動の一端をご紹介しましたが、このような、様々な教育活動を通じ、今後とも卒業生の方々が誇りに思える母校づくりのために率先して教育活動を進めていく覚悟でございます。

最後になりましたが、卒業生の方々のご健勝をお祈り申し上げますと共に、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

【新会長挨拶】



崇学会
副会長 馬場崎 慎一
昭和56年 電気工学科卒
熊本工業高校 副校長

平成26年度の総会にて会長を拝命させていただきました、昭和56年電気工学科卒の馬場崎と申します。よろしくお願いいたします。さて、近年、教育を取り巻く環境は大きく様変わりしており、学校教育に求められるものは、多様化・複雑化・高度化しております。また、従来は通用した手法では解決できない問題も散見されます。

さらに、近年は職員間の関係も希薄となり、様々な課題に対して孤軍奮闘している状況もあり、組織的・専門的な取り組みが求められています。そのような中、本会の存在は大きいものがあります。今までの取り組みを継続しながら新たな取り組みにも挑戦しつつ、母校と連携を図り、研修や会員相互の親交の場として本会がさらに発展できますよう、微力ではありますが努めさせていただきたいと思っております。会員の皆様の御協力と御支援をよろしくお願いいたします。

【副会長挨拶】



崇学会
副会長 江藤 義英
昭和58年 土木工学科卒
天草工業高校 教頭

各校にて教鞭を執られている同窓の教職員の皆様におかれましては、日々の御苦労が多い中でも、御健勝、御活躍のこととお喜び申し上げます。

この度、崇学会の副会長を拝命いたしました。不慣れで、微力ではありますが、諸先生方のお力添えをいただき、本会の発展に少しでもお役に立ちますよう精一杯尽力してまいります。

これまで、大学の学長様や多くの先生方の御支援の下、研修会、教育懇談会等研鑽の機会をたくさん与えていただき感謝いたしております。これからも、先輩方から教えを授かり指導を仰ぎながら、崇学会の一員として精励してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

崇学会会員数 264名(2014年度)

- 関西支部 : 11名 (大阪2名、兵庫6名、京都1名、奈良1名、和歌山1名)
- 中国支部 : 18名 (鳥取2名、岡山2名、広島9名、島根2名、山口3名)
- 四国支部 : 10名 (香川2名、愛媛6名、高知2名)
- 福岡支部 : 17名 ○佐賀支部 : 17名 ○長崎支部 : 11名
- 大分支部 : 10名 ○熊本支部 : 131名 ○宮崎支部 : 20名
- 鹿児島支部 : 15名 ○沖縄支部 : 4名

クラス全員がジュニアマイスター！

熊本県立八代工業高等学校 山下 辰徳

(昭和 58 年 土木工学科卒)

1 はじめに

本校では、ジュニアマイスター顕彰制度を利用し、学習意欲向上に努めています。平成23年度、平成24年度、平成25年度には認定者数が全国上位(30位以内)ということで「学校賞」を受賞しました。

情報技術科では、このジュニアマイスター懸賞の全員認定を目標に掲げ、取り組みを行ってきました。

この制度には、現在100以上の職業資格・検定と約60のコンテストが登録されており、その中から生徒が在学中に取得した職業資格や各検定の等級、参加したコンテストに対して得た点数の合計によって、30点以上を『ジュニアマイスターシルバー』、さらに45点以上の特に優れた生徒には『ジュニアマイスターゴールド』の称号を贈っています。

(全国工業高等学校長協会ホームページより)



2 取り組み

(1) 資格検定課外・家庭学習の習慣化

毎日、資格検定試験の課外を行い、家庭学習をしたノートを提出する。また、クラス全員で受験する資格検定以外に興味がある資格や今後自分に必要となる資格を探し、常に目標を持って毎日学習に取り組む。

(2) 自主学習会の開催

休日や長期休業中には自主学習会を行う。分かる生徒が分からない生徒に教え、生徒が教師となり、お互い励ましあいながら取り組む。

(3) eラーニング・mラーニングの利用

eラーニングシステムを利用して家庭でも学習ができる環境で取り組む。2年次に全員が受験する「ITパスポート試験」はeラーニングや携帯電話・スマートフォンの端末を利用したmラーニングで学習に取り組む。

(4) 教室掲示

取得した資格検定や個人のジュニアマイスターのポイントを教室に掲示する。現在の取得状況と目標を明確にし、競い合いながら取り組む。



自主学習会



eラーニング



教室掲示

3 結果・成果

3年間を通してクラス39人で640個の資格検定を取得し、ジュニアマイスター顕彰制度ゴールドに34人(うち特別表彰9人)、シルバーに5人が認定され、クラス全員がジュニアマイスター懸賞認定という目標を達成することができました。この取り組みを通して、家庭学習が習慣化され、資格検定だけでなく、定期考査や就職試験・大学入試に向けての学習意欲向上にも繋がりました。また、進路を考える際にも、取得した資格検定が活かせる企業を選ぶ生徒や資格優先型で大学を受験する生徒、自主学習会で教えることの喜びや楽しさを感じ、将来は教師になりたいという生徒もいました。この取り組みが社会人として、職業人としての自覚を高め、進路選択だけでなく進路決定にも繋がりました。



H27.2月【『笑顔と感謝の表彰制度』スタート！】



今年から崇城大学では、学生が生き生きと明るく成長していくことを促すため「笑顔と感謝の表彰制度」を設けました。本学の創立以来の建学の精神である「体」、「徳」、「智」にちなみ、各分野ごとの三つの賞（SOJO パワー賞、SOJO スピリット賞、SOJO ブレイン賞）を設立。2/10(火)には第一回表彰式が行われ、学生さんはスーツでバッチリ決めて参加していました。表彰式では部門毎に全員が表彰台に上がり、中山学長から表彰状が手渡され、記念撮影も行われました。

H27.1月【第1回崇城大学ビジネスプランコンテスト開催】

1月24日(土)「第1回崇城大学ビジネスプランコンテスト」が開催されました。61応募の中から2次審査を通過した7チームによる最終プレゼンが行われました。審査は日本を代表する投資家や起業家など8名による質疑応答後に行われ、建築学科4年加曾利さんの「南米コロンビアでのカレーチェーン展開事業」が優勝し、起業資金を獲得されました。



H26.7月【崇城大学キャンパス内に『放送スタジオ』OPEN】



学生のMCによる「開局記念特別番組（生放送）」ではスペシャルトークが繰り広げられました。出演はテープカットのメンバー6人（小野熊本県副知事、荒木合志市長、KAB 磯松社長、FMK 中西社、TKU杉山取締役、中山学長）と星合先生です。番組制作はすべて学生たちによるもの。機材を操作するまなざしも真剣です！今後は熊本の主要FM局とのコラボ番組も予定されているSCB放送局、大注目です！

H26.6月【フジドリームエアラインズと崇城大学の包括連携協定】

熊本に定期航空路線を開設されている株式会社フジドリームエアラインズと崇城大学において包括協定を締結し、航空業界に関連するさまざまな取り組みを展開することとなりました。この協定により、FDAがパイロット育成に必要な資格取得訓練の一部を本学に委託し、効率的なパイロット育成が可能となるほか、継続的に本学の卒業生を採用する推薦採用制度が準備される。

